



双葉台だより

第61号

令和6年9月1日発行
双葉台地区住民の会



事務所 双葉台市民センター内
TEL・FAX (029) 251-3991



あなたが避難所運営にかかわるとしたら
防災対策本部主催 避難所運営ゲーム開催



7月20日(土)に、双葉台市民センターにて防災対策本部主催により『避難所運営ゲーム (HUG)』が開催されました。自治会町内会長をはじめ住民の会役員が40名以上参加し、茨城県防災士会のご指導をいただき、8つのグループに分かれてゲームが進みました。

【写真】(以下、2ページへ続く)



大規模災害時 地域住民が避難所運営を ゲーム感覚で模擬体験

避難所運営ゲームとは、避難所の出来事や避難者対応をゲーム感覚で模擬体験するものです。

大規模災害時の避難所は、市職員がその運営の中心になりますが、地域住民や避難者を主体とした避難所運営を目指すところも増えてきています。

あなたが避難所運営にかかわるとしたら、という想定で、グループで話し合いながら、運営を学びました。

冬の夕方 停電断水の市民センターが避難所と設定

はじめに、代表防災士から、「冬の日曜日、午前11時に大きな地震がありました。今は午後4時。雨が降り出し、市民センターの外には、100人ぐらいの人がいます。そして、停電、断水・・・」と、避難所設定条件が伝えられました。

ここからはグループ活動となりました。進行係を務める防災士から様々な課題が投げかけられます。メンバーはアイディアを出し合って、解決方法を見出

していきました。どのグループも真剣でした。

話し合いの後、出席者から意見が出されました。

「資料の備蓄倉庫備品リストに、オムツがありません。」

「ペットと暮らす人も増えてきています。避難所運営上、どのような対応が必要か、悩みました。」

いずれも高齢化の進む当地区の深刻な課題でした。



茨城県防災士会の相羽晴子氏から、ポリバケツで使える手作り便座を紹介していただき、避難所運営ゲーム研修会が終了しました。【写真右】

避難所運営ゲームアンケートに寄せられた意見

●避難所開設に対する意識が高まった。(町内) 会長として再確認。ペットも課題であることを認識した。
●避難所開設が大変なことが、よくイメージできた。これからの生活に役立った。

●楽しみながらできた。

●災害地域の現実をイメージすることは困難だったが、HUGを通して予備訓練が大事と思えた。

●グループ内でコミュニケーションが図れた。非会員を含め、広く参加を呼びかけてほしい。

●災害時、初期対応の大切さがわかった。避難者に周知させることが重要だ。
●たいへん有意義な経験でした。これを町内会会員に伝えるために、本部より資料を出してほしい。

●もう少し話し合える時間が欲しかった。

●避難する事態が生じると、備品や役割などをいろいろ検討しなければならないことが分かった。



「朝の見守り(立哨)ボランティア」募集中

福祉厚生部長 横須賀恵子



福祉厚生部では、昨年度より地域の子どもたちを見守る「朝の見守り(立哨)ボランティア」の募集を始めました。小学校PTAでは保護者の人数が減少しており人員配置も以前の半分程度と、十分にカバーできていません。昨年度募集を始めてから、有難いことにボランティアとして協力してくださる方が少しずつ増えております。担当場所や当番などは決めず、「自分の都合に合わせて、月に一回でもできる時に、できる場所での無理のない活動」をモットーに、一人でも多くの皆様にご協力いただけるよう声をさせて頂

いています。なお、受付は市民センター窓口にて行なっております。

また、最近では双葉台学区内でも児童を狙った不審者情報が多数出ております。児童下校時(午後2時半頃から)以降に外出される際には子どもたちの安全への目配りも頂だけるよう、併せてお願いいたします。

屋・夜パトロールを続けて

安全・安心地域づくり協議会

会長 篠原 正男

地区の安全・安心地域づくり協議会は、今年9月29日をもって20周年を迎えることができます。地区の皆様感謝を申し上げます。平成30年10月25日に、文部科学大臣賞をいただくことができました。駐在所と連携をはかり、地区内のパトロールを継続的に実施、子どもたちの下校時間、地区の安全安心の環境づくりに、活動をしてまいります。



私たちの地区が更に住みよくなり、皆様のご協力をお願いいたします。

『双葉台地区住民の会 定例総会』開催

5月18日、双葉台市民センターにおいて令和6年度双葉台地区住民の会定例総会が開催されました。

最初に住民の会の和田正治会長から、「本年度も、もともとと、さらにもっと住みよい双葉台をモットーに実施していきたい。それには、まず情報の共有が大事であり特に役員間の共通



理解を深めることが重要であると考えている。また、町内会長様には町内会の皆様喜んでいただける何か一つでも町内会に入っていてよかったなと思えるような取り組みを実施していただけたら」との話がありました。

また、来賓としてご出席いただいた高橋靖水戸市長から、町内会加入促進のための条例の制定や防犯灯の電気料金公費負担増額の件「広報みこの件、防災・減災への取り組みについてお話をいただきました。

続いて和田会長が議長となり議案審議に入り、質疑応答などを行い、全議案とも原案とあり可決承認されました。

令和5年度会計決算報告並びに令和6年度会計予算については下記のとおりです。

なお、役員の一部改選がおこなわれ、新副会長に大部則子、



新会計に三瓶富美子がそれぞれ選出されました。(写真右から大部則子副会長、三瓶富美子会計)



令和6年度住民の会会計予算

収 入 (単位: 円)	
科 目	予 算 額
会 費	420,000
補 助 金	979,000
社協補助金	50,000
市委託事務費	1,336,600
繰 越 金	352,582
雑 収 入	818
合 計	3,139,000

支 出 (単位: 円)	
科 目	予 算 額
事 務 費	80,000
会 議 費	50,000
事 業 費	1,330,000
市委託事務費	1,336,000
通 信 費	60,000
印 刷 費	80,000
旅 費	40,000
負 担 金	48,500
交 際 費	60,000
予 備 費	53,900
合 計	3,139,000

令和5年度住民の会会計決算報告

収 入 (単位: 円)		
科 目	予 算 額	決 算 額
会 費	420,000	402,850
補 助 金	979,000	977,045
社協補助金	50,000	50,000
市委託事務費	1,569,000	1,520,050
繰 越 金	547,871	547,871
雑 収 入	129	30,960
合 計	3,566,000	3,528,776

支 出 (単位: 円)		
科 目	予 算 額	決 算 額
事 務 費	180,000	144,876
会 議 費	50,000	33,921
事 業 費	1,420,000	1,240,132
市委託事務費	1,569,000	1,520,050
通 信 費	60,000	37,190
印 刷 費	80,000	85,360
旅 費	40,000	21,000
負 担 金	48,500	48,165
交 際 費	60,000	45,500
予 備 費	58,500	0
合 計	3,566,000	3,176,194

※差引残額 352,582円(次年度へ繰越)

町内会紹介

「あったけどなかったと言われないように」

五丁目町内会会長 岩佐 淳一



今年度、町内会長を務めることになりました。

2011年の東日本大震災後に、ある研究者が福島県原発被害地域の自治会・町内会について「あったけどなかった」と形容したことを鮮明に覚えています。自治会・町内会は「確かにあった」、しかし震災時にそれらは「機能しなかった」という意味です。

何かが起こったときに共助組織である町内会が「あったけどなかった」と言われることのないように、ささやかながら何ができるのかを考えています。【写真は五丁目公園】

多くのの方々に応援されて

双葉台小学校

校長 木村 真理



本校では、水泳や調理、町探検等、補助や見守りが必要な教育活動に、多くの保護者の方がボランティアとして参加してくださいます。また、地域の方に、和太鼓や昔遊び、茶道等を指導していただく機会もありましたし、あいさつ運動や環境整備に協力してくださる方もいらっしゃいます。

さらに、登下校時の見守りや読み聞かせでは、地域の団体・個人の方々が、長年にわたって子供たちのために活動してくださっています。子供たちが、多くの大人に応援されていると実感しながら成長できることが、とても幸せなことであると感じています。

「気付き」を考え「動く」

双葉台中学校

校長 田村 悟



「おはようございますー!」正門付近では子供たちの声が響き、一日のスタートを清々しく切ることができています。

この子供たちは、変化の激しい、先が見通せない時代を生き抜くことになりました。すなわち、指示されたことだけではなく、何をすべきかに「気付き」、そのためにどうすればよいか、考え判断して「動く」ことができる、そのような子供たちを育成することが重要だということです。



地域の高齢者から昔遊びを学ぶ1年生

す。

本年度も地域の皆様の御理解・御支援をいただきながら、未来を担う子供たちの成長を支えていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



自分たちの考えを伝えに来た生徒たち

双葉台地区春季球技大会

6月2日、双葉台小学校校庭にて令和6年度双葉台地区春季球技大会が開催されました。

地域の3チームが総当たりによるリーグ戦で争われました。

前日から雨が降り、開催が心配されましたが、大会役員の皆様の配慮でグラウンド状態の良い場所にコートを移し、予定通り実施できました。

外野を超える打球や華麗な守備に大きな歓声や応援の音が飛び交いました。選手からは、「馴染みの顔ぶれで試合を楽しみ、清々しい交流の時間を過ごせました。」との声が聞かれました。

今回の優勝はむつみソフトチームでした。(写真＝表彰されたむつみソフトチーム)



双葉台駐在所に着任しました

根本 和也



双葉台地区の皆様初めまして。今年3月に双葉台駐在所に着任しました根本和也と申します。

前任地は自動車警ら隊という部署にあり、水戸市内での勤務は初めてとなります。

皆様には、日ごろから警察活動に対し多大なご支援を承り厚くお礼申し上げます。

花壇コンクール

7月5日、花壇コンクールがありました。今年度は次の11団体が参加しました。

- ▼双葉台女性会▼公園愛護会
- ▼グループホームしゃらく「なごみの会」▼開江老人ホーム
- ▼双葉台小学校▼双葉台中学校
- ▼開江竹の会▼みどり園▼すみれ第二保育園▼障害福祉サービス事業所きらきら▼双葉台保育所

各団体とも大切に育てられた花で彩られています。

花だけでなく、周りに絵を飾ったり、プレートを手作りしたりと、工夫が感じられました。審査結果は後日発表・表彰されることになっています。

市民センターだより

職員紹介



写真左から
車田 一史所長
杉山 洋子
石堀千代美 (着任)
一澤 裕美

この度の定期異動により今年度職員体制は右のとおりです。自治会町内会をはじめ、住民の会、関係団体役員の皆様には、コロナ禍後の引継ぎおぼつかない中、地域のため不断のご努力をされておられますことに、深く敬意を表します。

市民センター職員一同、引き続き地域の皆様とともに地域コミュニティ活動ご支援と生涯学習推進に努めてまいります。

編集後記

今回の避難所運営ゲーム、一役員として、模擬体験することで地域の防災への備えを知ることができました。

スムーズな運営のためには、地域の誰もが避難所や支援について詳しく知っておく必要があると思いました。(稲垣記)